

2009 年 お正月コンペリポート

1月3日(土曜日) ジュニア B セッション “ザ・ノース・フェイスカップ”

今年のジュニア B セッション、男子 14 名、女子 13 名のエントリーがありました。その内男子 6 名、女子 6 名がロッキーの地元千葉ジュニアチームの面々！

ジュニア達今が盛りの成長期、ばりばりの現役クライマーでもある、千葉青葉病院の肘から指までを専門とする整形外科医、六角先生の助言の下、指に負担をかけない課題創りと、コンペの中で完登する喜びをみんなに味わって貰いたいとの思いから、予選はかなりマイルドに仕上げました。結果、男女とも最終 課題目の成績で、順位がばらけました。予選はこの実質第 5 課題めだけで順位がついたのですが、女子の部、指の故障から完治していない飯田あづみが、(掛かりのいい) 核心カチを保持できず、まさかの予選落ちをしてしまいました。

そんな中、女子決勝へは、5 課題全フラッシュの安田あとり、5 課題目完登の竹内彩佳と野中生萌、それと 8 ポイント獲得の村井茉莉子、山本志帆、是永つぐみ、山口未来の 7 名が進出。決勝 1 課題目、予選上位の 3 名がフラッシュ！

続く決勝 2 課題目は全員がフラッシュ。そして決勝 3 課題目は安田あとりのみ完登。竹内彩佳は 6 ポイント、野中生萌は 5 ポイントで、綺麗に決着がつきました。今年の女子ジュニア、安田あとりの強さが一際目立った大会となりました。

男子は 5 課題全フラッシュの、新川祐希・渡部桂太・佐久間和也・島谷溪亮・村井隆一の 5 名と、5 課題目完登の島谷尚季の 6 名が決勝に進出。なんと！決勝進出者 6 名中、渡部を除く 5 人は千葉ジュニア！ 普段登り慣れている壁とはいえ、千葉ジュニア男子のレベルの高さを実感しました。

決勝は、3 課題中 2 課題をフラッシュした村井隆一が文句なしの優勝！ 2 位は 2 課題目を一手抜け出した新川祐希。3 位に島谷溪亮と渡部桂太が同成績で入りました。天才小学生、島谷尚季は最初の 1 課題目を一人フラッシュし損ない、結果的に 6 位となってしまいました。ここ一番の集中力、ここら辺が彼のコンペにおけるこれからの課題でしょうか。

結果、男子は村井隆一、新川祐希、渡部桂太、島谷溪亮の 4 名、女子は安田あとり、竹内彩佳、野中生萌の 3 名が、翌日の B セッションに招待されました。

1月4日(日曜日) B セッション “グレゴリー & ヨシキ P2 カップ”

最終エントリー人数、女子 11 名、男子 54 名。

予選は、1 課題 3 分のベルトコンベアー方式 5 課題。順位決定方法は、1 完登数、2 フラッシュの数、3 獲得ポイントの順。その為、最初のトライが非常に重要な意味を持ちます。完登数が同じで、ポイントが勝っていても、フラッシュ数で劣れば順位は下がります。此処がロッキー独自のルール。

さて今大会は、あの小林由佳さんがエントリーしてくれました！ そんな事で、予選・決勝課題を創るに当たって女子セッターチーム、野口啓代、萩原亜咲コンビ、入念にセッ

ト、試登を繰り返して、万全の準備で当日を迎えました。

女子予選、小林由佳さんがどんな登りを見せてくれるのか？見ている観客の期待の中、始まりました。結果は、1位 小林由佳 5課題全フラッシュ、2位 安田あとり 4完登・4フラッシュ、3位 飯田あづみ 3完登・3フラッシュ、4位 戸根木麻衣、榊原佑子 2完登・2フラッシュ・30ポイント、6位 目次容子 2完登・2フラッシュ・28ポイントで決勝進出。

ジュニアからの招待選手、竹内彩佳は2課題目をフラッシュできず、2完登・1フラッシュ・29ポイントで、惜しくも決勝進出を逃してしまいました。此処の所、男子ジュニア島谷尚季と同様、経験不足から来るここ1番の集中力が足りなかったようです。

続いて男子Bセッション予選！

今年も日本各地から大勢のエントリーをいただきました。ありがたい事です。

その予選、1~5課題目までタイプの異なった、男子ならではの課題を用意しました。54名の選手たちが次々と、乗りのいいサウンドをバックに、あちこちで渾身のパフォーマンスを繰り広げている様は、何ともお祭り気分を盛り上げてくれます。

そして、それぞれが、それぞれのクライミングを終了した後、予選結果の発表。1位 清水淳、2位 大山史洋、3位タイ 尾崎晃一、岩橋由洋、杉田雅俊、6位タイ 古川慧、濱田健介、8位タイ NOB、村井隆一と、計9人が決勝に進出！

村井隆一（中学2年）はジュニアBからの決勝進出。これは男子では始めてです！快挙です！

そして予選終了後、選手・観客のみなさんには、決勝の準備の為、一度ロッキーから退出していただきました。今年のBセッション決勝、去年と同じく有料です。さらに値上げもしました。

理由その1、現在のトップレベルのクライマーが凌ぎを削るクライミングパフォーマンス、質の高い映画1本分の鑑賞に値すると考えたからです。そこで前日のジュニアBセッション、Bセッション参加者は無料ということで、前売り券は1,000円、当日券は1,500円で販売しました。都合約50名の方が、チケットを購入されました！ 売り上げ、約55,000円！

そして理由その2、この決勝戦鑑賞チケットの売り上げを、優勝者に賞金として還元しようという発想からでもあります。この試み、概ね好評だったように感じました。

さて女子決勝、1課題目は左から右へのトラバース課題。4手目の三角はりぼてホールドから電球ホールドへの1手をこなしたのが、小林由佳と安田あとり。小林はフラッシュこそ逃したものの、その先を確実にこなして唯一人完登！榊原、飯田、戸根木、目次の4人は4手目保持。

続く2課題目、135度壁の左下から右上するリーチ系課題。ここでも小林由佳がただ一人核心を越え、惜しくも終了点タッチ！安田、榊原、飯田の3選手が核心手前保持。そして最終3課題目は、ルート壁にNEWホールド“Climb-It”だけで創った、野口啓代、萩原亜咲合作の気合の入った1本。5手目、甘いアンダーから遠い1手をこなしたのが、小林、安田、榊原の3人。そして次の1手はさらに遠い1手！ここでも小林由佳、チョークアップの後、驚異の引き付けで一人次のホールドに届いたが、保持するまでに至らず。3人とも5ポイント獲得で終了。

優勝は1完登18ポイントで小林由佳。2位は14ポイントのジュニアB優勝の安田あとり。3位は13ポイントを獲得した現役OLの榊原佑子。そして4位には12ポイントで、前日のまさかの予選落ちから立ち直った飯田あづみが入りました。

小林由佳さん、ボルダーコンペでもやっぱり強かった、今年の子Bセッションでした。いいクライミングを見せてくれて、ありがとうございました。

続いて男子決勝。1課題目、“Climb-It”をまぶした掛かりの悪いオーソドックスな課題。フラッシュしたのは、杉田、清水、岩橋、大山の4名。完登はNOB、尾崎、濱田。2課題目、135度壁を左から右上して、最後は天井壁ホールドにゴールするというテクニカルな課題。ここのフラッシュは杉田、清水の2人。完登は尾崎1人。

そしてこの2課題でアクシデント発生！1課題目をフラッシュ、この2課題目も核心を越えフラッシュが見えた大山、天井壁に移る中継ホールドに左手を出した時、残った右肩を脱臼してしまいました。残念無念、大山史洋ここでリタイア。幸い大事には至らなかったようです。

最終3課題目、テクニックのピンチホールドから、ピンチホールド2個へ、そこから今や伝説となりつつあるクライミングジム「ウイング」から譲り受けた張りぼてとブローストーンホールドにダブルダイノ！その後は慎重にムーブを繋いでフィニッシュ！この最終課題、フラッシュはゼロ。完登は、杉田、清水、岩橋、NOB、濱田の5名。結果、カウントバックで、本来なら清水の優勝となるどころ、ここがロッキーBセッション、観客に規定通りに清水の優勝か、はたまたカウントバックをしないで、スーパーファイナルを行うか拍手を求めたところ、スーパーファイナルに圧倒的な支持があつまりました。

その時の清水君のコメント「ファイナルはめっちゃめっちゃ弱いけど（第3課題、スタートでぼろ落ち後2撃）、スーパーファイナルはめっちゃめっちゃ強いんや！」には、会場大盛り上がりでした！

結局、スーパーファイナルでも決着はつかず、両者優勝ということで今年の子Bセッションは幕を閉じました。

賞金は、女子優勝者の小林由佳さんのご好意で、3等分にして、ヨシキ&P2の社長からのお年玉と併せて一人約20,000円をお渡しすることができました。チケットをご購入された方々には、この紙面をお借りして改めて御礼を申し上げます。

参加された皆様方には、状況の許す限りこのお正月コンペ、続けていく所存ですので、来年も是非とも参加していただきたくお願いする次第です。

そして、このお正月コンペを開催するに当たって、様々な形で参加・協力してくれたみんな（竹内、数馬、啓代ちゃん、亜咲ちゃん、飯田パパ&ママ&ゆずる、良太、みやけん、オカケイ、カップ、ゆうこりん、容子ちゃん、舞ちゃん、まんぞう、トリ、浅田氏）と、毎度のことながら快く賞品提供にご尽力いただいた(株)ゴールドウィン（ザ・ノース・フェイス）の三浦さん、(株)エイアンドエフ（グレゴリー）の金原さん、(株)ヨシキスポーツ社長吉野さん、本当にありがとうございました。お蔭様で、今年も楽しく且つ無事に大会を終えることが出来ました。

尚、大会の様子は、[当ロッキーのホームページ](#)に載せていますので、どうぞご覧ください。

船橋ロッキー 田村幸雄